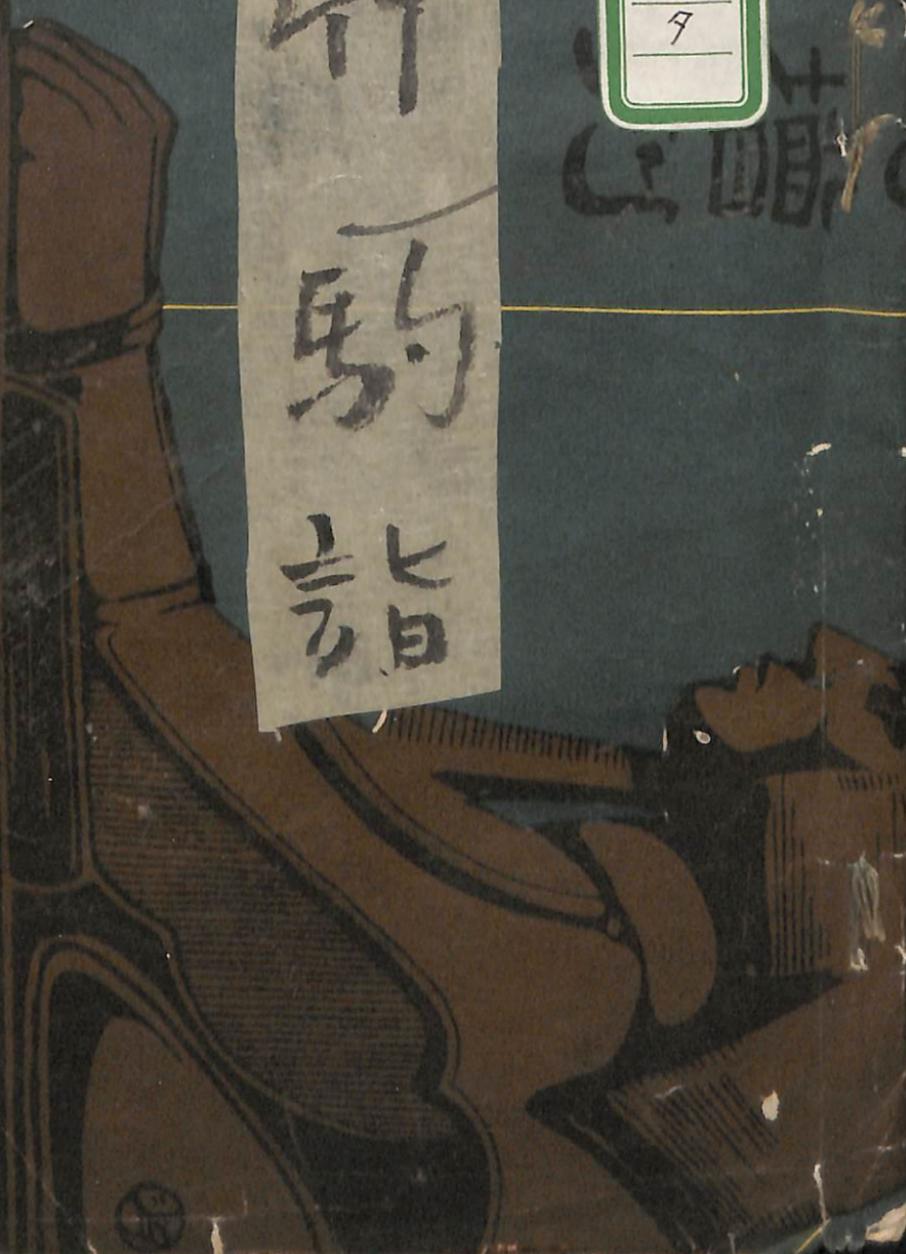


212  
7

竹  
駒  
詣

三  
三  
館  
文  
同  
京  
瀬





竹駒社

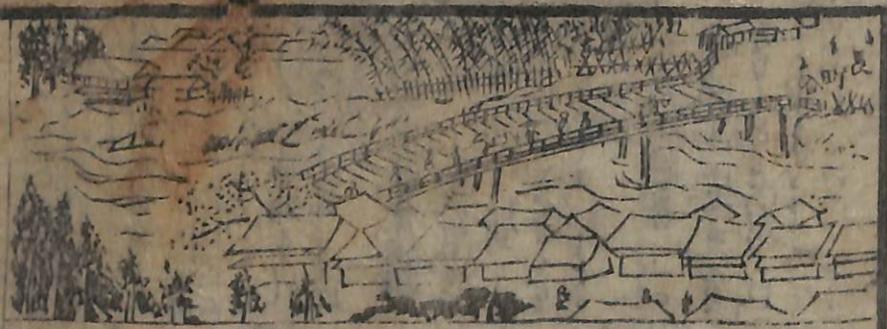


岩沼町



作駒詣

このこゝんきんののぎ  
 這回沙心軽之成被  
 有竹駒来詣也  
 此子付也案因傍也  
 下申名致取心也日限



定りゆき芭蕉过を  
 立く東雲舟人新茶  
 屋小暫く休ひま  
 利廣瀬川  
 西下松山の友是山

仙三番河談

第一番 法樂院

法樂院

二番 觀音堂

觀音堂

三番 東照山定光寺

東照山定光寺

東照山定光寺

茂



大寺の教丈の山門

塔堂伽藍

織牛禪師の園基

ありて遠元和の頃迄

を樂野園重の居城

よして其迄今を川上

ありて宮澤宗禪

を國重の菩提にえ

石碑を今も残りとも

長町より語り証

善千手観音 同

蓮花山永昌寺

あゆみたるくらの  
ゆきぬまのくらの  
ゆきぬまのくらの  
ゆきぬまのくらの

大徳山昌隆寺

あゆみたるくらの

あゆみたるくらの

あゆみたるくらの

あゆみたるくらの

あゆみたるくらの

あゆみたるくらの

あゆみたるくらの

あゆみたるくらの

あゆみたるくらの



ゆきぬまのくらの  
ゆきぬまのくらの  
ゆきぬまのくらの  
ゆきぬまのくらの

七番西観世壽田  
傍山山大願寺

たておき一みこの  
ちくひのおかある  
ゆきひのうちよこれ  
ふれせん

今志西観世壽田  
湯田山宝光院

やも人もあま  
こころすちいつ  
いのりやゆきい  
ましのちよふ

今志西観世壽田  
成徳山徳頼寺

ゆりくのゆきひも  
まはるこめてんや  
ゆきとあまあうく  
いのちよふ

村田前



天を流るるや  
あま

涙りせんとはま  
あま

とぞ誠よ近邊の空  
あま

震るるよ見えし  
あま

風景はらんるあ  
あま

眺めし中田の町を  
あま

過行く流るるあ  
あま

田川天満宮あま  
あま

信下はとの神を源頼  
あま

義興あ征伐のせり  
あま

十萬千手観音摩西  
慈眼山延壽院  
ことごとこのおの  
ちうひやいめいゆ  
まゝ急の付のまぢ  
まゝ

十萬土面観音  
藤佐山佛生寺

あつとつたか  
まじめけうはる  
さくやほちまの  
みむらま

十萬土面観音  
長光山慈恩寺

あのはやいさし  
いやはとのこま  
まじめけうはる  
まじめけうはる



初清奉りし中女  
の宮居り  
彼老女  
杉森ハ名取の老女

信んしをりし熊野  
三本控現を神徳澤子

心ちて森  
霊地あり毎年九月

九日神事  
野祭禮の遺風

伝ふに逸十二神形

心ちて森  
霊地あり毎年九月  
九日神事  
野祭禮の遺風  
伝ふに逸十二神形

十三番正統世音  
松尾山金猪寺

みのもれんをひて

うのてり

十に及手手説音

志城山太林寺

あふけやとたて

ひりやと

十に番正統世音

ふ知山忍陀院



権現小佐次ごんげんこさの権ごん

莫の松もくのみ千年せんねんかかららぬ

赤坂あかざかやや岩いわ曾根そねととふ

海濱うみをを弘法こうぼう大師だいし垢離くぢり

の靈場まいたばととやや佐具さぐ叡えい

の神かみ社やしろをを陸奥りくおのの古ふる

社やしろののままとと權ごんとと重おも

とと糸いと端はな下した夜よ道みち祖そ神かみ

の社やしろ實まこと方かた中ちゆう將しやうのの塚つか

ののままののせせ名なののとと神かみ

十三番 正統世音 日

松尾山金持寺

まのこけやあしや

みのまのこけやあしや

あしやあしやあしや



権現小佐渡の橋

莫の松千年かきぬ

赤坂や岩曾根と只

海濱を弘法大師垢離

の霊場ともや佐具叡

の神社を陸奥の古

社のまゝと移るを重

く糸指で敷道祖神

の社賣方中將の塚

のまのまのまのまの

十六番 正智無常寺

十知 山城 養父寺

さとり かり ころり へ

ひらーの 十月 月

ころり 月 げ あけ

かこの 夜

十七番 正智無常寺

法王 山河 浮陀寺

ついでー みるくよ

ふるくと みるくよ

みるくよ みるくよ

みるくよ

十七番 正智無常寺

と 純雲 山光 書院

みるくよ みるくよ

みるくよ みるくよ



くむ みるくよ みるくよ

天苗山使林寺

たておきしちうひの  
はともあつておきて  
いしうこよとび  
つりぬる

井番正徳寺

美谷山香福寺  
おとしし山のた  
まがしれいなる  
のぼるふとすのふ  
さくぬや

井番正徳寺  
全秀山瑞雲寺

いのりぬるらるふ  
かあふあふとて  
あふしれいなるふ  
さくぬや

保方



全蛇の神社を

おし一室塚成る

石く岩沼所美

かき根竹駒の神

社を名の多居以や

高き楼つとる雲鏡

の額お殿廻廊神

茶堂繪馬堂也廐

空林お見えはこの

神を謹昔小野堂

世に及ぶ世に世音田  
後現山保壽寺

こととまじりたりつ  
のこゝろはさしよ

いのちのみじん  
あは

世に番ぬを極致音田  
惠日山遍照寺

あてて多くあま祿  
くてもす山のふ

いのちをあさ目めめ  
くむゆくあは

世に番ぬを極致音田  
後玉山尼寺

よろこぶよろこぶ  
あはちちゆく

あはちちゆく  
あはちちゆく

福河の社を移し

守り武隈明神と

申せしとを縁起よ

ハ能因法師東五

巡覧の好風と竹

の馬は騎る童子

に逢ひ二本の松を

為ねしそまあは

事凡人あはは

明神の化成就を





我松村

廿六番子親音寺  
 後園山園分寺  
 いさごもやわらて  
 たりたよーあまを  
 ちのゆくまのこら  
 ーのほち  
 北守忠正親世音日比古

良音流

みてもまきつりし  
 つしお終日うけ  
 てらまはるとりの  
 のまゆを  
 其哉子神佛留  
 ふる山徳義寺  
 ゆたか寺がまを  
 いたやあまの  
 佛のたうらうら

作駒好神鳥

坐見得山實小神

威

記雲場也

南よ千貫松移若

の渡百合稚丸野

美急の鷹又急

東平王の塚河武

隈の鼓多相

ふ川ぬ可申



世書心經卷  
翻 普山香淨  
月 月 月 月  
月 月 月 月  
月 月 月 月

世書心經卷  
高福沈  
月 月 月 月  
月 月 月 月  
月 月 月 月

世書心經卷  
高福沈  
月 月 月 月  
月 月 月 月  
月 月 月 月

世書心經卷  
成就沈  
月 月 月 月  
月 月 月 月  
月 月 月 月

世書心經卷  
成就沈  
月 月 月 月  
月 月 月 月  
月 月 月 月

世書心經卷  
成就沈  
月 月 月 月  
月 月 月 月  
月 月 月 月

心經卷之  
數多  
其節  
見注  
會之  
第一  
張  
卷

會之節  
述  
新刊武藏



于時文政五年初冬新刻成

仙臺國分町十九軒

書肆 豪華房 伊勢屋 若衛

知<sup>ち</sup>る名<sup>な</sup>不<sup>ふ</sup>舊<sup>きう</sup>之<sup>し</sup>

數<sup>すう</sup>多<sup>おほ</sup>く此<sup>こゝ</sup>の<sup>こゝ</sup>花<sup>はな</sup>

其<sup>その</sup>節<sup>せつ</sup>一<sup>いつ</sup>之<sup>の</sup>巡<sup>めぐ</sup>

見<sup>けん</sup>注<sup>ちゆ</sup>之<sup>の</sup>滿<sup>まん</sup>以<sup>い</sup>親<sup>しん</sup>

會<sup>かい</sup>之<sup>の</sup>節<sup>せつ</sup>一<sup>いつ</sup>可<sup>か</sup>申<sup>まう</sup>

述<sup>しゆ</sup>此<sup>こゝ</sup>不<sup>ふ</sup>備<sup>び</sup>

與<sup>よ</sup>州<sup>しゆ</sup>武<sup>ぶ</sup>藏<sup>ざう</sup>郡<sup>ぐん</sup>

千<sup>ち</sup>時<sup>じ</sup>文<sup>ぶん</sup>政<sup>せい</sup>五<sup>ご</sup>壬<sup>にん</sup>午<sup>う</sup>初<sup>しう</sup>冬<sup>とう</sup>新<sup>しん</sup>刻<sup>こく</sup>成<sup>せい</sup>



仙臺國分町十九軒

書肆 裳華房 伊勢屋 半右衛門

北京图书馆藏

同文館

